



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

新規評価法を活用したポリフェノールの抗動脈硬化作用機構解析

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長岡, 利 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/551

【はじめに】

動脈硬化症予防・改善のための多くの医薬品・食品の登場、社会的関心とは裏腹に、現在でも WHO の統計では、世界の死因の第 1 位は、依然として心臓血管疾患であり、その主因の一つに今回の焦点である動脈硬化症の問題が未解決のまま残されている。つまり、決定的な動脈硬化症の解決策は残念ながら現在もない、というのも厳然とした事実である。驚くべきことに既知成分のみで 4000 種類と言われているポリフェノールの抗動脈硬化作用の解析は、ある意味では、まさに始まったばかりと考えてよく、社会的関心とは裏腹に、以外にも遅れており、未検討の物質は極めて多いと言っても過言ではない。この申請研究から、より有用な安全性の高いポリフェノールの抗動脈硬化作用を、より迅速・微量・厳格に評価できれば、真に抗動脈硬化作用を効果的に発現するポリフェノールを特定し、医薬品や食品添加物として高度有効利用が可能である。今回のような新規性の高い発想・手法を用いたポリフェノールの抗動脈硬化作用の解析はこれまでになく、極めて独創性の高いものである。

【研究組織】

研究代表者：長岡 利（岐阜大学農学部助教授）

研究分担者：清島 満（岐阜大学医学部教授）

【研究経費】

平成 12 年度 2, 200 千円

平成 13 年度 1, 400 千円